

提出された意見（要約した内容）とその意見に対する
土浦市生涯学習推進協議会の考え方

平成17年12月19日から平成18年1月18日までの間、第2次土浦市生涯学習推進計画(案)について意見を募集した結果、4人の方々から意見の提出がありました。これらの意見について適宜要約した上、それに対する土浦市生涯学習推進委員会の考え方を次のとおり公表します。

提出された意見の要点及び土浦市生涯学習推進委員会の考え方

	意見の要約	土浦市生涯学習推進委員会の考え方
1	<p>各町内にある公民館と各中学校地区公民館を毎日開放して無料の託児所代わりとし、リタイアした教員と老人会を中心とした高齢者数名が交代（有償）で子どもたちと遊んだり宿題をしたりする場を作ってはどうか。子供のコミュニティと老人のコミュニティを合体することで、より豊かなコミュニティが作られると考えられ、実現に向けての具体的な検討を願いたい。</p>	<p>子どもたちと高齢者との交流を促進する取り組みは、少子高齢化が進行し、地域社会のきずなが希薄化する中で、非常に重要な課題になっており、本計画（案）においても重視している点であります。</p> <p>本計画（案）は今後5年間の中期的な方針や施策を定めたものであり、ご提案いただいたような具体的な事業内容につきましては、今後の事業の検討にあたり参考とさせていただきたいと思えます。</p> <p>なお、ご提案の趣旨に沿った具体的な事業としては、現在、次のようなものがあります。</p> <p>放課後児童クラブ</p> <p>放課後の子どもの居場所づくりとしまして、市内15の小学校で、昼間、保護者が働いている家庭の3年生以下の児童を対象に実施し、保護者に代わって、指導者が子供との関わりを持ち、子どもの健全育成に努めています。</p> <p>「都和児童館」事業</p> <p>児童厚生員の指導のもとで、放課後児童クラブと同様の事業を実施しているほか、夏休み等の長期にわたる休みには、宿題の指導も行っています。</p> <p>「ポプラ児童館」事業</p> <p>児童厚生員が遊びの指導を行ったり子どもの自主的な勉強の場を提供しているほか、地元の方々と将棋等による交流を図っています。</p> <p>下高津小学校における「地域子ども教室」</p> <p>文部科学省の委託事業として、土・日曜日に開校し、農家の方の指導による「トウモロコシ、大豆栽培」や定年退職をされた方を専門講師やコーディネーターに活用した「昔のあそび」体験のほか、各種のレクリエーションなどをとおして、若い方から高齢者まで、幅広い年齢の地</p>

	<p>健康や体に関する情報提供の重要性・必要性が高いことから、自治体主導でこれらの教育の場を作ってほしい。その際、近隣の医療施設との連携やITを利用した遠隔講演など独自の手法で行ってはどうか。</p>	<p>域住民との交流活動を実施しています。</p> <p>現在、市では心身の健康や疾病予防に関する情報提供及び学習機会を積極的に提供しているところでは。</p> <p>「基本目標1 - 施策の方向1 - 具体的施策4 健康に関する学習と生涯スポーツの推進」にありますように、今後もより一層健康への重要性の高まりに対応した学習機会の提供を図っていきます。その際の学習方法につきましては、ご意見を参考にさせていただきたいと思っております。</p>
2	<p>生涯学習は地域の課題への取り組み、社会貢献へと発展させるシステムが必要だと考えているが、現状では、団塊世代の退職後の人生（セカンドライフ）は「再就職」か「趣味・娯楽等の生きがい」かの二者選択しかない。両者の間にある「ボランティア活動」を充実させることが重要であり、本計画が、そうした中高齢者の地域活動への積極的参加を促すガイドラインとなることを期待している。</p>	<p>本計画（案）においても、団塊世代の生涯学習活動と地域の活性化の関連性及び重要性を認識しているところであり、第1章 計画策定の背景（1）少子高齢社会の進行（資料の1ページ）、第4章 推進の展開 「基本目標2 - 施策の方向2 - 具体的施策2 地域ボランティア活動の推進」（資料3 2ページ）において、学びが自己の充実のみに終わることなく、ボランティア活動などにも活かせるような施策を立てました。</p> <p>また、定年退職により地域に戻ってきた方々への生涯学習をサポートするため「基本目標3 - 施策の方向2 相談体制の充実」（資料3 3ページ）も図っていきます。</p>
3	<p>「基本目標1 - 施策の方向1 - 具体的施策9 歴史・地域文化に関する学習の推進」は、特に大事にしてもらいたい項目であり、土浦らしさを押し出すことが、まちの活性化につながるはずで。施策体系の9番目ではなく、もっと上位に位置づけてもよいのではないか。</p>	<p>「基本目標1 - 施策の方向1」（資料2 5ページ）は「多様な学習機会の提供」であり、9つの具体的施策は多岐にわたる学習分野をカバーしたものとなっています。そこに優先度や重要度といった序列はなく、どの施策（分野）も同等の重要性と必要性を持っているものと認識しております。</p> <p>しかし、ご指摘いただいたように、より土浦らしさを強調し、また、計画内容を市民の方に理解していただきやすいよう、「基本目標1 - 施策の方向1」の具体的施策（学習分野）の順番を以下のように変更いたします。</p> <p>自治とまちづくりに関する学習の推進 安全、暮らしに関する学習の推進 教育・子育てに関する学習の推進 健康に関する学習と生涯スポーツの推進</p>

		<p>環境に関する学習の推進</p> <p>歴史・地域文化に関する学習の推進</p> <p>芸術・文化活動の振興</p> <p>職業能力向上を目指した学習の推進</p> <p>現代的課題に対応するための学習の推進</p>
	<p>上大津公民館では、地区市民委員会と連携し、茶話会のほか、様々な催しを企画・実施してきたことで地域文化について触れ・学ぶことができ、たいへん感謝しています。こうした地域の文化を育む場としての公民館の意義は大きいので、だれもが気軽に利用できる環境の整備・充実をお願いしたい。</p>	<p>本計画(案)においても、ご要望の点については、重点方針(資料2 1ページ)として「公民館活動の充実」を掲げており、その中で「地区公民館ごとの地域性を活かした魅力ある学習事業を展開することにより、地域コミュニティの活性化を図ります」、また「公民館運営委員会などによる公民館事業に対する市民参加の取組みを活かしながら、市民の主體的な公民館活動をより一層促進します」と明記しています。したがって、本計画(案)につきましては、公民館の利用環境の向上などを目指す内容となっておりますので、ご理解ください。</p>
4	<p>計画案は細かすぎて、一般市民には理解しにくいのではないかと。</p>	<p>本計画(案)の「第3章 計画の概要 2. 計画の位置づけ」(資料2 3ページ)では、生涯学習を「すべての社会・生活分野に内包される学びとして位置づけている」ため、その範囲がたいへん広いばかりか、国や県の生涯学習施策や本市の総合計画及び他の行政計画との整合性を持って進めなければなりません。したがって、多岐にわたって細かく施策を講じる内容となっています。</p> <p>また、詳しく施策や事業を分類しているため、一般市民の方には「細かすぎる」と感じるかもしれませんが、適切に計画を進行管理するためにも必要なことですので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>なお、文章表現や計画書のレイアウトなどについては、市民の方にも見やすく、わかりやすいものに配慮したいと考えています。</p>
	<p>具体的施策が抽象すぎて、内容が見えない。</p>	<p>今後、市の各課の具体的事業を整理・追加して計画書の最終案とします。</p>
	<p>各種講座の受講生は大半が女性で占められており、男性(特に中高年)が参加し難い状況であるが、これを何とかして男性にも参加しやすくしてほしい。</p>	<p>本計画(案)を作成するにあたって実施したアンケート調査においても「教室や講座などに参加している」のは女性が圧倒的に多く、男性は「個人的に活動している」方がほとんどであ</p>

		<p>ることがわかっています。そのため、「基本目標 1 - 施策の方向 2 学習機会参加への支援・充実」として「すべての市民が学びたいときに学べる環境を整備する」(資料 29 ページ)ことを掲げています。その中では「具体的施策 1 高齢者障害者等のための生涯学習の充実」と「具体的施策 3 男女共同参画の視点に立った生涯学習の推進」があり、ご意見いただいたように、教室や講座への参加機会を、男性や高齢者にも拡充するよう施策を講じていく予定です。</p>
	<p>座学でなく腕を使った特技を持った市民を講師にし、10～15人程度の生徒を対象として講座を開催してはどうか。</p>	<p>現在、市で実施している「人材バンク制度」がご意見を現実化したものに相当すると考えられますが、本計画(案)においても重点方針(資料 22 ページ)として「人材バンク制度の充実」を掲げており、より一層取り組みを進めていく予定です。</p>
	<p>市のパソコン講座は初級者を対象にしているが、中級・上級者向けの講座も開催してほしい。</p>	<p>土浦市としては、急速に進むIT化に対応できる市民をできるだけ増やしたいと考えております。そのため、市が主催する講座・教室においては、パソコンなどのIT技術に接する「入り口」「きっかけ」をできるだけ多くの市民の方にもっていただくことを目的とした初級者向けの講座を中心としております。</p> <p>こうしたことから、市の講座を受講した後、より高度な学習や技能取得を希望される方については、受講生仲間でグループや同好会をつくり、互いにレベルアップを図ることや、民間事業者などが開設する講座や教室などを利用することにより、さらに技術向上を目指していただきたいと思います。</p>